

配付資料一覧

- ・ 資料 1 : 議事次第
- ・ 資料 2 : 出席者名簿
- ・ 資料 3 : 座席表
- ・ 資料 4 : 検討会設置要領
- ・ 資料 5 : 「先進技術を活用した家禽疾病の予防と早期検知」
(鹿児島大学 小澤 真 氏説明資料)
- ・ 資料 6 : 「ICT・スマート技術を活用した Egg Farm Automation での防疫対策提案」
((株)ハイテム 安田 幸太郎 氏説明資料)
- ・ 資料 7 : 「レーザーを活用したドローンによる鳥インフルエンザ対策について」
((株)NTT e-Drone Technology 和田 哲大 氏説明資料)
- ・ 資料 8 : 「卵内雌雄鑑別の現状と導入効果」
((株)日立ソリューションズ・クリエイト 小澤 佳子 氏説明資料)

スマート畜産技術のイノベーション・普及に関する検討会 (第2回) 議事次第

令和8年9月2日(水) 15:30～17:00
農林水産省第一特別会議室

1. 開 会

2. 大臣挨拶

3. 有識者による話題提供

- ① 「先進技術を活用した家禽疾病の予防と早期検知」
(鹿児島大学 小澤 真 氏)
- ② 「ICT・スマート技術を活用した Egg Farm Automation
での防疫対策提案」
(（株）ハイテム 安田 幸太郎 氏)
- ③ 「レーザーを活用したドローンによる鳥インフルエンザ
対策について」
(（株）NTT e-Drone Technology 和田 哲大 氏)
- ④ 「卵内雌雄鑑別の現状と導入効果」
(（株）日立ソリューションズ・クリエイト 小澤 佳子)

4. 意見交換

- ① スマート畜産技術を用いた高病原性鳥インフルエンザ等の
疾病対策
- ② スマート畜産技術の開発・実装・普及に向けての課題及び
産官学の連携
- ③ その他

5. 閉 会

スマート畜産技術のイノベーション・普及に関する検討会
(第2回) 出席者名簿

【有識者】

鹿児島大学 共同獣医学部 教授	小澤 真
(株)ハイテム 専務取締役	安田 幸太郎
(株)NTT e-Drone Technology サービス推進部 普及部門長	和田 哲大
(株)日立ソリューションズ・クリエイト 経営戦略統括本部 チーフ DX コンサルタント	小澤 佳子
AguSophy 合同会社 CEO	池口 厚男
一般社団法人 AI ロボット協会 CTO	松嶋 達也 (オンライン参加)
農研機構 畜産研究部門 研究推進部 研究推進室長	石田 三佳
農研機構 動物衛生研究部門 研究推進部長	大崎 慎人
(敬称略)	

【農林水産省】

農 林 水 産 大 臣	鈴木 憲和
畜 産 局 畜産局長	谷村 栄二
畜 産 局 総務課 課長	廣岡 亮介
畜 産 局 企画課 課長	金澤 正尚
畜 産 局 畜産振興課 課長	上田 泰史
消費・安全局 審議官	沖田 賢治
消費・安全局 動物衛生課 課長	松尾 和俊
農林水産技術会議事務局 研究総務官	羽子田 知子
農林水産技術会議事務局 研究推進課 課長	渡邊 麻衣子
農林水産技術会議事務局 研究統括官室 研究調整官	川地 太兵

スマート畜産技術のイノベーション・普及に関する検討会（第2回）座席表

川地 研究調整官

渡邊 研究推進課長○

羽子田 研究総務官○

松尾 動物衛生課長○

沖田 消費・安全局 審議官○

鈴木大臣○

谷村 畜産局長○

廣岡 総務課長○

金澤 企画課長○

(畜産振興会) 会長○

プレゼン席 ○

農研機構 動物衛生研究部門

大崎 慎人氏

農研機構 畜産研究部門

石田 三佳氏

A g u s o p h y 合同会社

池口 厚男氏

(株) 日立ソリューションズ・クリエイト

小澤 佳子氏

(株) N T T e - D r o n e Technology

和田 哲大氏

(株) ハイテム

安田 幸太郎氏

鹿児島大学 共同獣医学部

小澤 真氏

【オンライン参】
(一社) AIロボット協
松嶋 達也氏

ついたて

受付

WEBモータ

内線
7502

No. 335

スマート畜産技術のイノベーション・普及に関する検討会 設置要領

令和8年6月23日制定

1. 趣旨

畜産業は、夜間の分娩監視等の労働負担が大きく、疾病発生予防等の高度な対策も求められることから、持続的な発展と畜産物の安定供給を確保するためには、飼養衛生管理の省力化や効率化、高度化が不可欠である。これらの課題を解決するため、畜産分野では各種ロボットやセンシング技術を用いた繁殖管理等のスマート畜産技術が開発されてきたが、今後も労働力の不足や高齢化の進行が見込まれる中、AIの更なる活用も含めたスマート畜産のイノベーションを進め、開発された技術を普及していくことが必要である。

こうした状況を踏まえ、今後のスマート畜産技術開発の方向性等について官民連携して幅広く検討することを目的として、スマート畜産技術のイノベーション・普及に関する検討会（以下「検討会」という。）を設置する。

2. 検討事項

- (1) スマート畜産技術の現状と課題
- (2) スマート畜産技術を活用した家畜衛生の高度化
- (3) スマート畜産技術による飼養衛生管理の省力化・効率化
- (4) スマート畜産技術開発の方向性
- (5) AI等を活用した畜産の目指すべき姿
- (6) その他

3. 検討会の構成

検討会は、以下の者から構成する。

- (1) 農林水産省関係課
畜産局 企画課・畜産振興課
消費・安全局 動物衛生課
農林水産技術会議 研究推進課・研究統括官室
- (2) 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構
- (3) 検討テーマに応じたスマート畜産技術の開発・提供を行っている民間事業者等のスマート畜産技術及びAIに関する有識者

4. 検討会の運営

- (1) 検討会は原則として冒頭のみ公開とする。

- (2) 配布資料及び議事概要は、会議終了後、出席者の了解を得た上で、農林水産省ホームページで公表する。ただし、出席者からの配布資料であつて、当該者が非公開を希望したもの及び検討会において非公開とすることが適当であると認める資料についてはこの限りでない。
- (3) 検討会の事務局は、農林水産省畜産局畜産振興課において行う。